



平成 23 年 3 月 18 日

各 位

会 社 名 宮地エンジニアリンググループ株式会社
代表者名 代表取締役社長 縣 保 佑
(コード番号 3431 東証一部)
問合せ先 取締役経理部長 越 後 屋 秀 博
(TEL 03-5649-0111)

特別損失の計上および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社子会社の株式会社宮地鐵工所において、平成 23 年 3 月期第 4 四半期に下記のとおり特別損失を計上することといたしましたのでお知らせします。また、最近の業績動向を踏まえ、平成 22 年 5 月 18 日に公表した通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせします。

記

1. 特別損失（減損損失）の計上

当社子会社の株式会社宮地鐵工所が千葉縣市原市に保有する千葉工場の土地について、時価が著しく下落したため、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失約 35 億円を特別損失に計上することといたしました。

2. 平成 23 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日）

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	31,000	1,000	800	600	8.81
今回発表予想（B）	28,000	2,600	2,400	100	1.47
増減額（B－A）	△3,000	1,600	1,600	△500	—
増減率（％）	△9.7	160.0	200.0	△83.3	—
（ご参考）前期実績 （平成 22 年 3 月期）	35,468	2,186	1,998	1,555	23.87

3. 修正の理由

売上高は手持工事の減少により 280 億円となる見込みであります。営業利益、経常利益につきましては、原価削減、設計変更による契約額の増額、ならびに先行き不透明のため諸リスクを見込んでおりましたが、ほぼ見通しがついてまいりましたので、それぞれ 26 億円、24 億円に修正いたします。当期純利益は、上記 1. に記載のと通りの特別損失を計上いたしますが、一方これに関連して繰延税金負債の取崩（約 14 億円）もあり、結果として 1 億円に修正いたします。

なお、3 月 11 日に発生しました「東北地方太平洋沖地震」による今期業績への影響につきましては、軽微と考えられますが、今後開示すべき事象が発生した場合は、速やかに開示いたします。

以 上

（注）本資料に記載されている予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、予想数値と異なる場合があります。